

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

総務常任委員会、文教厚生常任委員会、建設経済常任委員会は、12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（吉村幸治委員長）

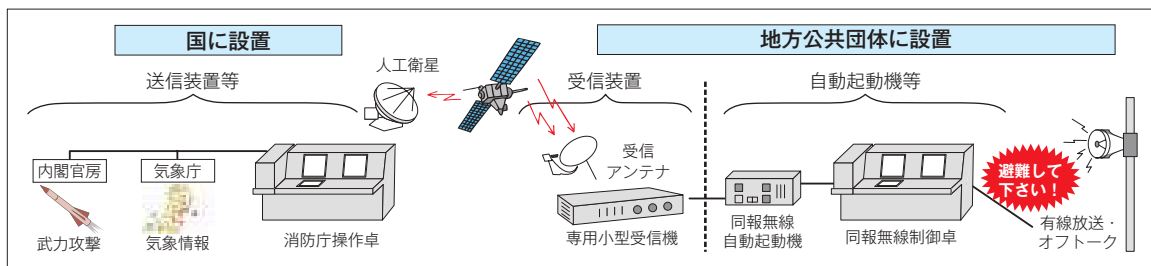
☆平成21年度一般会計
予算の補正（所管分）

問 郵便料の補正増は、
答 厳しい財政状況の中、当初予算編成時かなり切り詰めた予算と補助事業等での対応を考えていたが、予定していた分の予算が確保できなかった。
問 全国瞬時警報システム装置工事に伴う入札は、
答 有線とオフトーク放送で繋ぐ部分と機器等の部分に分けて入札できるのではないかと考えている。

※全国瞬時警報システム

通信衛星と市町村の同報系防災無線を利用し、緊急情報を住民へ伝達するシステムのこと。

曾於市は防災無線がないため、有線放送・オフトークの利用を検討している。



全国瞬時警報システム（J-ALERT）

問 定額給付金事業の経済効果は。

答 国の試算では全員が使った場合には、国内総生産比の0・4%程度の効果があるとのことであったが、給付後の使い途などの追跡調査は、本市はしていない。

問 2億円もの財政調整基金を取り崩さなければならなかった理由は。

答 交通対策事業の国庫補助金の組み替えとその他に民生費、新型インフルエンザ対策事業等にそれぞれ充当するものである。

問 今後の財政調整基金の見通しは。

答 平成22年度当初予算編成は一般財源の持ち出しを前年度の90%に押しさえるように各課等に指示している。

今後、一般財源の持ち出しを控えながら、基金の取り崩しを少なくする工夫をしていかなければならない。

問 130万円以下の修繕費等に係る届け出の申請は。



様式変更された住民税申告書の表裏

答 今のところ、特に考えていないので検討したい。

問 業者の入札ランクは。

答 工事成績や入札金額の評点などを加味して指名選考委員会で業者を選考している。

問 県と曾於市の評点の方法が違うのは。

答 市は県より若干低いというところはあるが、評点の見直しなどを今後やっつけていかなければならないが、なかなか厳しい問題があるので検討したい。

問 住民税申告書様式変更委託料は。

答 市民の方々によりわかりやすい様式に変更することに伴う印字をするための経費である。

意見 国及び本市の財政も非常に厳しくなっている中で、予算編成の在り方については、絶えずどうい予算の方が本市の負担が少ないかなど勉強して、努力をすべきである。

☆市立図書館の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定

問 当施設を指定管理者制度へ移行するための改正であるが、その目的と市立図書館協議会との関係はどうなるのか。

答 民間のノウハウを活用し、サービスの向上や業務の迅速化を図りたい。協議会と管理者との関係は、お互いの役割を明確に確認することで、民間への丸投げにならないように運営を行っていきたい。



幼児の利用も多い市立図書館

☆市財部温泉健康センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

問 温泉健康センターと総合交流ターミナルを一つの施設として一本化される改正内容だが、補助金等の関係はどうなるのか。

答 県にも確認したが、条例を一本化しても、施設をその目的にあうように使用すれば問題はない。

☆指定管理者の指定（財部温泉健康センター）

問 公募の内容と指定管理期間を5年間としたことについて。

答 2社の応募があり、指定管理者選定委員会で（株）山有に選定した。期間については、これまでの安定的な運営状況を踏まえ、協議の結果5年間と定めた。

☆指定管理者の指定（恒吉地区診療所）

問 診療所の概要と実績について。

答 曾於郡医師会立病院へ指定管理するもので、毎週水曜日と土曜日の午前中が診療日である。平成20年度の受診者数は663名である。

☆平成21年度一般会計予算の補正（所管分）

問 養護老人ホーム清寿園のsprinkler設置工事を行う根拠は。

答 消防法の改正により平成23年度までに設置しなければならないものである。

問 子育て応援特別手当事業（3196万1千円）の全額を減額し事業を行わなくなった経緯について。

答 国の政策により本市においても既に予算措置されていたが、政権交代



恒吉診療所（大隅町）

☆平成21年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正

による国からの執行停止通知に基づき、全額を減額するものである。

答 本年度に約3億2476万円を取り崩し、年度末残高は約5265万円の見込みである。医療費が増加する中、厳しい運営状況となっている。

問 国民健康保険給付支払準備基金の状況と今後の国保会計の見通しは。

☆市道路線の認定
(大隅町長迫口線)

☆指定管理者の指定

問 市道認定として申請のあった部分については、県で整備して渡すということだったので、確実にそうなるように。

答 条件整備については要望書を出している。

問 メセナ会館の利用状況は。

答 音楽室やトレーニング室の利用が伸びている。

問 いきいき親水公園の管理運営については、2社の応募があったという

答 (株)山有と鹿児島県の合人材センターがプレゼンテーションを行い、選定委員会で総合的に判断して決定した。

☆平成21年度一般会計予算の補正(所管分)

問 東九州自動車道は、今後どうなるか。

答 先が見えず心配している。また都城・志布志道路の予算が大きく削減されていることもわかった。

問 財部農村婦人の家の利用状況は。

答 平成20年度が217人、平成21年度が10月末で194人である。

問 中山間地域整備事業(大隅地区)の補正の内容と場所は。

答 集落道の整備2路線と次年度予定の集落道の委託業務を計画している。場所は里ヶ山の集落道で中坂元から国道10号線に向かう道路、もう一つは新原の公民館から高田川沿いにある排水路の整備、川床自治会から柳井谷自治会への委託業務である。

問 農業者年金の加入状況は。

答 受給者数は平成21年3月末の決算時点ですべて1418人。加入者数、

掛金を払っている加入者数は、174人、現在10人を確保しており、目標まであと4人となっている。



メセナ会館のトレーニング室



財部農村婦人の家の加工施設